

みんなで守ろう

応急仮設住宅の 防火対策



整理整頓



裸火に注意



応急仮設住宅は狭い!
火災の危険は高い!

地域で防火訓練



被災地の応急仮設住宅では、実際にこんな火災が発生しています。

- 午前0時～2時、台所でタバコを吸っていたが、適切な処理を怠り発火した。
- 午前8時～10時、居室において、破損した電気こたつのヒータープラグに可燃物がふれ発火した。
- 午後4時～6時、応急仮設住宅の風除室で、何らかの原因により段ボールがストーブの近くに落ち、着火した。

岩手県、宮城県、福島県の応急仮設住宅での火災発生は7件です。(2012年8月末)

応急仮設住宅の防火対策に関する研究会
財団法人 日本防火協会

応急仮設住宅 防火診断表

お住まいになっているみなさんで
防火診断をやってみましょう!

キッチン周り

- コンロと壁の距離が近づきすぎていませんか。
- コンロの周りに燃えやすいものはありませんか。
- コンロのそばを離れるときは、必ず火を消していますか。
- 消火器はすぐ使える場所にありますか。
- 魚焼きグリルのグリルパンを清掃していますか。

居間・寝室

- 寝たばこはしていませんか。
- 灰皿の吸いガラは水をかけて捨て、置いたままにするのはやめましょう。
- 住宅用火災警報器は時々作動確認し、音を聞きましょう。
- カーテンなど、燃えにくい防災品を使っていますか。
- ガスコンロ(卓上・鍋用)の使用方法を取扱説明書で確認しましたか。
- 電気機器のコードは、たこ足配線になっていませんか。
- 子どもの手の届くところにライター等を置いていませんか。

暖房器具

- こたつなど、電気機器のコードが切れかけたり、ほこりが溜まったりしていませんか。
- 石油ストーブは火を消してから給油していますか。
- 暖房器具の上に洗濯物を干したり、近くに燃えやすいものはありませんか。
- ストーブを点けたときはこまめに換気し、寝るときは消しましょう。

家の外

- 避難経路は確保されていますか。
- 放火されそうな物は置いてありませんか。(放火を防ぐには、周囲に暗がりをつくらないこと、ゴミ集積所の整理整頓に心がけるなど地域の結束を示しておくことが重要です。)



消火器の使い方を
確認しましょう!

- 1 安全ピンを
引き抜く
- 2 ホース又はノズルを
火元に向ける
- 3 レバーを
強く握る

防災品は
このマークが目印



吸いガラは
こまめに
捨てましょう



たこ足配線は
危険です



燃えやすいものは
近くに置かない!



避難経路も
確保しましょう!
消防隊の活動もスムーズ!

